

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月14日

事業所名 放課後等デイサービス リッケ 保護者等数(児童数)16世帯(20名) 回収数 16世帯 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない		ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			はい	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16			外に広場もあり子供ののびのびと過ごしている様子です。	利用人数を把握し十分な活動スペースが確保できるよう心がける。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1		利用児童が多い日に対しての職員数が、児童に対して少なく感じる日がある。	今後も研修等で専門性を高め、職員の配置についても基準以上に充実させるよう心がける。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	12	1	スロープや手すりなどは少ないような感じがする。	必要性がある場所に対してバリアフリー化を検討する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16			定期的な面談で目標や計画が作成してくれている。	継続して、細やかな情報共有、計画書の作成に取り組む。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1		曜日によって活動プログラムが違い子供が楽しんでいる。	より良い活動ができるよう研修や会議等に力を入れる。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	13	1	児童クラブは聞かないが、地域の行事に参加しているようです。	児童クラブとの交流を検討していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			負担額の内容がわからなかったで聞いたら説明があった。	継続して細やかな情報共有、送迎時の申し送りを心がける。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	16			お便り帳や電話、LINEでも相談に対応していただけて細かい情報共有ができている。	より信頼できるやりとりができるように可能な限り会って話せるように心がける。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16			家での対応などにもアドバイスをもらえて助かっている。	今後も継続して真摯に助言や面談を行う。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	1		定期的に家族会があり楽しみにしているが、保護者同士のやりとりは少ない。	他に保護者同士の情報共有ができるようなシステムを検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4		苦情ではないが、困ったことを相談すると親身になって対応してくれる。	苦情があった場合は、苦情解決マニュアルに基づき適切に対応する。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1		特に気にしたことはないが、よく情報共有できていると思う。	児童との意思疎通のコンテンツを増やしていく保護者が連絡の取りやすい体勢を整えている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	3		HPで活動をチェックしている。評価結果のようなものもチェックできた。	今後も継続して活用や行事予定の情報共有を徹底していく。
14 個人情報に十分注意しているか	14	2		意見がありませんでした。	今後も情報管理を徹底していく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	12		マニュアルはあるようだが、私達への説明は覚えていない。	契約時に周知、説明を行っているが、他の機会も設けて十分な説明を心がける。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	9		わからないという意見がありました。	継続して避難訓練を行い、災害に対して備えていく。防災訓練の報告を保護者がわかるような形で行う。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16			通所の日は楽しみにしているようです。	ほとんどの児童が楽しみにしているようであるが、そうでない児童への対応を検討していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	16			意見がありませんでした。	今後も評価に満足することなく緊張感をもって支援を心掛ける。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。